

事業所名

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6

年

12

月

1

日

法人（事業所）理念		寄り添うケア										
支援方針		人権を尊重し、利用者が自己尊厳を保ちつつ、利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じた支援や活動ができるように 生活全般に渡る援助を行う。										
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり○	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	来所時 体温測定、ご家庭からの連絡ノートから在宅での様子等 健康状態を毎回確認します。 当日の 体温、排尿の様子、モニターの数値を観察します。医療的ケア（吸引、経管栄養、人工呼吸器監理、酸素等）を実施します。 表情や声等 利用児童のサインにきをつけるようにきめ細やかな観察をしながら 生活スキルの獲得につなげていきます。										
	運動・感覚	理学療法士が姿勢保持や上肢・下肢の運動の改善及び習得、拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用でできるよう活動、遊び等を支援します。										
	認知・行動	保育士によるお集まり（音楽、歌、読み聞かせ、手遊び等）を通じて 5感を十分活用して物や空間、形、重さ、色の違い等 認知や行動の手がかりとしての成長を促す支援をしています。										
	言語 コミュニケーション	職員や他の利用児等と関わり、身振り、声、指差し等 環境や空間の理解と意思の伝達ができるように支援します。 利用児童のコミュニケーションに対しての自発的な伝達能力向上の為の支援をしていきます。										
	人間関係 社会性	他の利用児童と一緒に関わる遊びや製作活動等のルールを守って遊ぶ共同遊びを通じて徐々に社会性の発達を支援します。										
家族支援		子育ての助けとなるように児童の強み、感覚や認知の特性等をお伝えしていきます。レスパイトの場を提供するとともに同じ悩みを持つご家族との交流の場（家族会）を開催します。可能であれば 送迎を取り入れます。				移行支援		本人の強み、感覚や認知の特性を移行先と情報共有し、本人や受け入れ先が安心して移行できるように支援します。他事業所の利用に関しても 本人の支援がスムーズにいくよう情報共有していきます。				
地域支援・地域連携		必要に応じて連携先と情報共有し、本人が安心してすごせるように支援します。他の所属事業所等のイベント等に参加して交流を深めます。				職員の質の向上		法人内で行う研修や 外部研修に参加します。 身体拘束・虐待防止、感染症、事故防止、BCP、ハラスメント、救急法（AEDを使用した心肺蘇生等）				
主な行事等		・お花見・お雛様、子どもの日製作・七夕製作・夏の水遊びプール・ハロウィンイベント・クリスマス会・家族会										